

市民の安全と安心を守る矢板警察署

市民が知らない警察官の努力と活躍



私たちが日常生活の中で事故や犯罪に遭ってしまった時、真っ先に考えるのは「〇番です。頼りにする警察官の方たちが、職務執行に必要な体力、気力、土気、術技等の向上のために全国の各県で術技を競う術科大会が実施されています。

栃木県では例年、年間を通じて柔道・剣道・逮捕術・拳銃・駆伝の五種を開催しています。私たちにあまり知られていない術科大会の内容や結果などを矢板警察署の本村誠署長、東海林拓和警務係長にお聞きしました。

●術科大会を行う場所や時期は？

本年は、柔道は五月、剣道・逮捕術は七月に栃木県

武道館、拳銃は六月に栃木県警察学校、駆伝は十一月に栃木県井頭公園で行いました。

●術科大会はいつごろから始まりましたか？

柔道・剣道・拳銃は昭和三十年、逮捕術は昭和五十六年、駆伝は昭和五十六年から行っています。

●術科大会には女性も参加しますか？

各大会には、多くの女性が参加しています。矢板警察署では、拳銃の個人戦に女性警察官一名が参加し、剣道大会では、有段者の女性職員が監督を務めました。

●大会に参加する部署や選手などは？

県警本部内の各課、執行隊、各警察署の代表選手が技術を競います。

大会には団体戦と個人戦があり、団体戦では、部署の規模によって、部対抗、執行隊対抗、警署署対抗A、B、Cクラスなど、クラスを分けて、おおむね同規模

大会では、警棒×警棒、

の部署で勝負しています。矢板警察署は、矢板市と塩谷町の二交番九駐在所、署員六十余名でCクラスです。

●競技ルールや練習などは？

柔道・剣道・逮捕術は三人制の団体戦を五チーム総当たり、拳銃は三人の選手合計点を九チームで競いました。

また、柔道・剣道・逮捕術の練習は、矢板警察署内にある道場で、駆伝の練習は長峰公園などで平日頃から行っています。拳銃は警察学校で行います。

●あまり馴染みのない逮捕術とは？

逮捕術は、相手に与える打撃を最小限にとどめながら、安全かつ効果的に制圧する警察独自の技術です。

「無ければ困るが、あまり行きたく無いところ」というのが警察署への感想でしたが、取材で感じたのは「上から目線」ではありませんでした。「市民の皆さん

「無ければ困るが、あまり行きたく無いところ」というのが警察署への感想でしたが、取材で感じたのは「上から目線」ではありませんでした。「市民の皆さん

「無ければ困るが、あまり行きたく無いところ」というのが警察署への感想でしたが、取材で感じたのは「上から目線」ではありませんでした。「市民の皆さん



矢板警察署には優勝した種目の賞状、優勝旗、優勝カップが飾られています。

●大会結果は？

- ・拳銃大会・・・B組優勝
- ・逮捕術大会・・・C組優勝
- ・剣道大会・・・C組優勝

栃木県警察術科大会において、中規模以下の警察署が三冠を獲得するのは初めての快挙です。

●取材を通して

「無ければ困るが、あまり行きたく無いところ」というのが警察署への感想でしたが、取材で感じたのは「上から目線」ではありませんでした。「市民の皆さん

「無ければ困るが、あまり行きたく無いところ」というのが警察署への感想でしたが、取材で感じたのは「上から目線」ではありませんでした。「市民の皆さん



まのご理解とご協力があるからこそ、市民の安全と安心を守ることが出来ます」と真面目な話の中にも、時に冗談を交えながら気さくに取材・撮影に応じてくれた警察署長、真摯に質問に答えてくれた警務係長。一年を締めくくる十月、慌しくなる師走の矢板市民の安全と安心のために、警察官たちが目に触れないところで努力して得た優勝旗三本が光っていました。(M・K)